

## 地域の方からのうれしいメール



左の写真は、毎年行っている低学年の交通指導の様子です。横断歩道や道路を横断する際の交通マナーを学んでいます。

道路を横断するときに、止まって左右を確認することや、運転手さんとアイコンタクトをすること、手を挙げて渡ること、渡らせてもらえたらお礼の気持ちを伝えることを練習しています。

この練習の成果が低学年だけでなく、高学年の児童にも出ていることがわかりました。

地域に住む方からいただいたメールの一部を紹介します。

先日、牛牧校区内で、道路を渡ろうとする高学年のお子様がいたので、車を止め、ジェスチャーで、どうぞと道を譲りました。するとその子は、道路を渡る前にまず会釈をし、渡り切ってからこちらに向き直り、深々と会釈をして下さいました。なんて素晴らしい行動なんだろうと感動しました。

その後低学年の子も、集団で渡ろうとする高学年の子も同じように会釈をして下さいました。

昨日も、四時半ごろ、八幡神社の信号の無い横断歩道で、中学年くらいの男の子がしっかり2回も会釈してくれました。心の温まる素敵な行動に私は大変感動しています。

あの会釈が嬉しくて、私は道を譲ることを楽しみにしております。丁寧なお礼、こちらこそ、ありがとうございます。安全におうちに帰って下さいね。

今後も、大きな事故に子どもたちが巻き込まれてしまわぬよう、ハンドルを持つ私も気をつけて運転させて頂きます。

これからも交通マナーを守って、牛牧小学校区で事故が起きないようにしていきましょう。